

## 防護無線機の不具合について

2022年2月18日のサンダーバード32号における防護無線機の不具合について、調査結果をご報告いたします。お客様にご不安とご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。

### 1 不具合の内容

当該防護無線機内部の設定が誤っていたことにより、無線信号を発信しても他の列車の防護無線機では正常に受信できず、警報音が鳴動しない状態になっていました。

※防護無線機とは、乗務員が何らかの異常を認めた場合に、無線信号を発信し周囲の列車に知らせる装置です。無線信号を受信すると列車の運転台で警報音が鳴動しその警報音を聞いた乗務員が列車を停止させます。

### 2 発覚の経緯

2022年2月18日午後4時10分頃、弊社近畿統括本部より金沢支社に対し「サンダーバード号で使用する車両において、他の事象が発生した際に防護無線が正常に機能しなかった可能性がある」として調査依頼があり、直ちに「サンダーバード32号」を緊急停止させ防護無線機の機能確認を実施したところ、9号車の運転台に搭載していた防護無線機の不具合が判明しました。

※当該列車は前途の運転を取り止めました。

### 3 原因

製造メーカーにおいて防護無線機の内部設定作業が漏れていたためです。

### 4 確認

- ・製造メーカーの調査で、弊社の防護無線機の内部設定作業の記録を確認したところ、漏れていたものは金沢支社所有の2台のみでした（うち1台は予備品であり列車への搭載実績はありませんでした）。
- ・2022年2月18日～21日にかけて、運用中の金沢支社所属車両の全防護無線機の内部設定を確認したところ、その他の無線機は正常でした。
- ・弊社の他エリアにおいても防護無線機全数の内部設定の確認を実施しています。

### 5 対策

製造メーカーの対応を踏まえて弊社としての対策を検討します。